

食の感動で、この星を満たせ。

TORIDOLL→

News Letter

2024 年 9 月 13 日

桶のリユース×障がい者雇用促進

「丸亀製麺 桶工房」一周年

株式会社トリドールホールディングス(東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 栗田 貴也、以下「トリドール HD」)は、ダイバーシティ推進基本方針のもと、さまざまな取り組みを行っています。

この特例子会社である株式会社トリドール D&I(兵庫県神戸市、代表取締役社長 小国政 勝己、以下、「トリドール D&I」)は、トリドールグループのダイバーシティ推進基本方針を体現する組織として、**讃岐うどん専門店「丸亀製麺」で使用する釜揚げ用うどん桶のリユースとダイバーシティ&インクルージョンの推進**を目的に、2023年8月19日(土)兵庫県加古川市に「丸亀製麺 桶工房」を開設しています。



2024 年 8 月には桶工房の 1 周年を迎え、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、イベントを開催しました。ご家族をご招待したうどん教室や、桶工房の近隣の皆様へ丸亀製麺キッチンカーによるうどんの無償ご提供を行いました。イベントには丸亀製麺で唯一の麺匠・藤本も参加し、活動を盛り上げました。



【コメント】

代表取締役社長 小国政 勝己

トリドール D&I では、「心」と「動作」その両方の傾聴を行うことで、さまざまな方を迎え入れる気持ちを持てると考えています。また、常にどうしたら出来るだろうかを考え、チャレンジし続ける事で、豊かな心を育み、笑顔が溢れる職場環境を創る事が出来ると考えています。

こうして働く私たち自身がまずは笑顔になり、働くことに幸せを感じる事で、心に残るサービスへとつながり、「感動」を生み出す事が出来ると信じています。

私たちは障がいがある方達と共に学び、双方が職場自立を進める中で、新たな価値を創造し続ける特例子会社を目指します。

桶工房では以下の目標を掲げ、積極的に取り組みを進めています。

【2025 年度 桶工房 目標】

■環境保護

- ・ 廃材削減：1.1 トン/年
- ・ リユース取り組み：220 店舗 6,783 個/年

■ダイバーシティ推進

- ・ 障がい者雇用：9 名

- ・高齢者雇用：2名（トレーナー）

■地域貢献

- ・地域イベントや体験実習を開催

■丸亀製麺 桶工房



トリドール D&I では、障がいがある従業員が、破損および経年劣化した丸亀製麺の釜揚げうどん木桶を修理し、店舗に戻すことで、リユースの取り組みを進めています。法的な義務を果たすだけでなく、雇用の質を高めるために、障がいがある方を職人として育成し、職場環境や働くことへの意欲向上にも取り組んでいます。その活動の一つとして、桶工房を 2023 年 8 月に開設。現在は 11 名の職人が業務に従事しています。（2024 年 9 月現在）

■株式会社トリドール D&I

トリドール D&I は、2016 年 10 月にトリドール HD の子会社として設立。同年 12 月にトリドールグループの障がい者雇用の促進と安定を図ることを目的として特例認定を取得しました。

トリドール D&I は、障がいがある方をサポートするトレーナーを配置し、障がいがある事によって起こる困りごとの解消や軽減させることで、合理的配慮の義務を果たす事に積極的に取り組んでいます。

トリドールグループはこれからも、地域や社会の皆様から信頼され、企業市民としての責任を果たすため、社会課題に向き合い、環境負荷低減とダイバーシティ & インクルージョンの推進を続けていきます。

トリドールホールディングスについて

「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、さまざまな業態の飲食チェーンを展開し、味覚だけでなく五感が揺さぶられる、本能が歓ぶほどの感動を探索し続けています。

今後も「食の感動体験」をどこまでも追求し、世界中で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーを目指して、予測不能な進化を遂げるため、国内のみならず海外での展開を積極的に推進してまいります。